

加太小学校だより



令和5年
9月26日
No.10



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」の結果から

1学期に「全国学力・学習状況調査」(国・算6年生対象)、三重県作成のテスト「みえスタディ・チェック」(国・算・理5年生対象)を行い、前学年までに学習したことの定着をはかりました。子どもたちは、全員が最後まで真剣に取り組み、国語や算数に関する調査に無解答はありませんでした。また、この調査では、学力面だけでなく、生活習慣や学習環境等に関する児童質問紙調査も行われました。

「全国学力・学習状況調査」「みえスタディ・チェック」の結果、5・6年生全ての教科において県平均正答率を大きく上回りました。一方で、問題別に見てみると、以下のように正答率の高い問題(強み)と正答率の低い問題(弱み)が明らかになりました。これらの結果を授業改善や今後の取組に活かしていきます。

教科に関する調査結果より

※数字は、県平均正答率(5年)、全国平均正答率(6年)との比較です。
※「○」は、強み 「●」は、弱み

国語(5・6年)

○言葉の特徴や使い方に関することなど基本的な事柄をほぼ理解している。

- ・敬語を理解している。(6年 +42.4)
- ・文章の種類とその特徴について理解している。(6年 +20.2)
- ・漢字を文の中で正しく使う。(5年 +34.2)
- ・敬体と常体の違いに注意して書く。(5年 +5.5)
- ・修飾と被修飾との関係を捉える。(5年 +32.1)
- ・ローマ字で書く。(5年 +6.1)
- ・主語と述語との関係を捉える。(5年 -14.6)

○必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える。(6年 +26.4)

○具体的な事例を挙げて説明する文章を書く。(5年 +18)

- 目的に応じて調べたことを整理する。(5年 -5.5)
- 手紙の構成を理解し、後付けを書く。(5年 -6.4)
- 目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約する。(6年 -15)
- 目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つける。(6年 -42.4)

算数(5・6年)

○数の構成や表し方がわかり、四則計算を正しくすることができる。

- ・乗法の計算(6年 +19.2 5年 +8.6)
- ・加法と情報の混合計算、分配法則(6年 +27.6)
- ・小数の除法の意味についての理解(5年 +28.4)
- ・分数の意味についての理解(5年 +12.5)
- ・概数での表し方の理解(5年 +15.1)

○台形、正方形、正三角形の意味や性質について理解している。(6年 +40.2 +12.8 +25.1)

○180°よりも大きい角の大きさを求める。(5年 +34)

○伴って変わる2つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いる。

(6年 +11.5)

- 「以上」の意味を理解し、表から読み取る。(6年 -25.7)
- 高さが等しい三角形について底辺と面積の関係をもとに面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。(6年 -20.8)

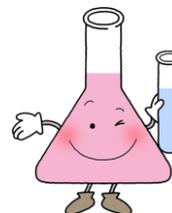
●百分率で表された割合について理解する。(6年 -21)

理科(5年)

○実験結果を基に、分析して考察できる。(5年 +30.3)

○問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつ。(5年 +19.8)

- 回路に流れる電流の大きさを理解する。(5年 -29.8)
- 検流計の適切な使用方法を身に付けている。(5年 -7.6)



質問紙調査による結果より

※全国平均と比較して特に顕著な傾向があるものをあげました。
※「○」は、強み 「●」は、弱み

- 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
- 平日、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。
- 読書は好きですか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。
- 自分にはよいところがあると思いますか。
- 将来の夢や目標を持っていますか。
- 学校に行くのは楽しいと思いますか。
- 1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。
- 地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか。
- 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思いますか。



今後の取り組みについて



☆「読む力」「書く力」をのばす。

- ・様々な文章や問題文を読んで意味や意図を正しく認識する力を身に付けるために継続して読書指導に取り組む。
- ・様々な教科において、新聞やパンフレット、リーフレットなどの資料や図表などを活用し、読み取った内容をまとめる機会を多く持つ。
- ・文章を書いたら読み返して修正する習慣を身に付けさせる。
- ・相手に伝わるように順序だてて論理的に文章表現できる力を身に付けさせる。
- ・数字や言葉、式を使って記述したり、条件に合わせてまとめたりする機会を増やす。



☆学習したことを日常生活や他教科等でも活用する。

- ・手紙の正しい書き方を習得させ、様々な場面で手紙を書く経験をさせる。
- ・様々な教科において学習したことを日常生活と関連付けて考える場面を増やす。

☆自ら実験方法を考え、実験結果から考察する過程を大切にす。

- ・目的を明確にして実験方法を考えたり、試行錯誤しながら実験をし、結果を分析して考察したりする場面を増やす。
- ・実験器具の正しい使用方法を習得させる。

☆自己肯定感を高める取り組みを行う。

- ・児童に異学年交流活動などを企画・運営させることで達成感を味わわせる。活動後には、活動を振り返ったり、感謝の気持ちを伝えたりする場面を設定し、児童同士のつながりを深める。
- ・児童が活躍できる場を意図的に設定し、全教職員が全児童と関わる中で、児童の言動を認め価値づける声かけを行う。

☆家庭・地域との連携した取組を行う。

- ・活動の目的を明確にしたふるさと学習を進める中で、地域の方と多く交流したり、地域の方の思いにふれたりする場面を多く設定する。
- ・タブレットを活用した宿題や自主学習など家庭と協力して学習習慣を身に付けていく。

